

セーフフロムホーム・安全委員会 理事会報告

令和1年 6月 8日

1、4月20日(土)、新メンバーを加えて今年度第1回の委員会を開催いたしました。
今年度事業について確認しそれぞれの担当を決めて事業を推進していくことになりました。

①セーフフロムホームに関して

・新たに出された「セーフフロムホームセミナー運営ハンドブック」、「セーフフロムホーム県連盟対応ガイドライン」について、委員会の中で理解を進めました。

・また、5/26全国大会<テーマ別集会>でこの件に関する説明がされるということで、委員長と委員(副コミ)で参加いたしました。

・新ハンドブックは基本編と実践編からなり、これらについては県コミより、今後の地区コミ会議にて地区コミッショナーに説明されると聞いております。新ハンドブックの活用によりさらなる理解と実践がされるよう支援していきたいと考えております。

・また<テーマ集会>では、ビーバースカウトカブスカウト用教材(カード式・イラスト入り)を作成中である。社会の変化に沿った<eラーニングのバージョンアップ>も検討中であるとの説明がありました。

・短い時間ではありましたが実際に寄せられた事例を使い、ワークシートを使ったグループ討議も体験しました。

②安全普及フォーラムの実施について

・「2019安全普及フォーラム運営ハンドブック」を日本連盟より入手できましたので、フォーラム開催に向け検討いたしました。

10月9日(日)青少年会館を予定しております。フォーラムは4時間程度の内容です。

(詳細は次回の委員会で決定し要項を作成し配信いたします)

③障がい児スカウティング研修会は、2020年2月9日で実施予定。

④今後は、第2回委員会を7/6、3回は9/14、4回は11/16、5回は2/9と開催する予定で、それぞれの事業を進めていきます。

2019年6月理事会 ユース委員会報告

ユース委員長 久原 宗仁

1 ユース委員会報告

(1) RCJ 総会参席

日 時：2019年5月25日（土）

場 所：鹿児島市民文化ホール 第一ホール

内 容：第1号議案 2018年度事業報告に関する件

第2号議案 全国ローバース会議三カ年目標に関する件

第3号議案 運営委員会の編成に関する件

第4号議案 2019年度予算案に関する件

(総会後 中部ブロック内の連絡体制の確認)

2 ユースチーム静岡報告

(1) 県連盟定時総会

日 時：2019年5月18日（土）

場 所：清水テルサ

内 容：表彰式補助 総会司会

参加者：宮地 外山 藤島 西澤 木村 松井 鍋田

(2) ユース会議

日 時：2019年5月19日（日）

場 所：静岡県青少年会館 チャータールーム

内 容：募集チラシ作成 全国大会に関する打ち合わせ

(3) RCJ 総会出席及び参席

日 時：2019年5月25日（土）

場 所：鹿児島市民文化ホール 第一ホール

参加者：三田 あかね（RCJ 総会実行委員）

藤島 沙公良（静岡県代表）

参席者 宮地 木村 増田 波切（ユースチーム静岡）

2019年度 全国ローバースカウト会議総会



日時：2019年5月25日（土） 15:30～17:30
場所：鹿児島市民文化ホール 第一ホール



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

次第

1. 開会の言葉
2. 国旗儀礼・国歌斉唱
3. 議長挨拶
4. 議事
 - 【第1号議案】2018年度事業報告に関する件
 - ・報告事項：2018年度運営委員による自己評価・反省
 - ・報告事項：2018年度会計に関する件
 - 【第2号議案】全国ローバースカウト会議三カ年目標に関する件
 - 【第3号議案】運営委員会の編成に関する件
 - 【第4号議案】2019年度事業計画に関する件
 - ・報告事項：2019年度予算案に関する件
5. 講評
6. 連盟歌斉唱
7. 国旗儀礼
8. 閉会の言葉

<資料>

- Ⅰ 2019年度RCJ県連盟代表者抱負
- Ⅰ 「全国ローバースカウト会議」憲章
- Ⅰ 2019年度全国ローバースカウト会議代表スカウト名簿

第2号議案 全国ローバースカウト会議三カ年目標に関する件

2018年度三カ年目標進捗の評価と報告

三カ年目標は2018年度RCJ総会にて承認されたものである。進捗、評価は以下の通りである。

	テーマ	到達目標	2018	2019	2020
情報不足の解消	ローバーのつながり	すべての都道府県からRCJ代表を選出する。 ⇒42/47選出済み ローバー同士の有機的なつながりを強化する。 ⇒RCJ Re:Quest、各ブロックイベント、新たなローバー組織の発足（北海道、兵庫、福岡など）	○	○	○
	オンラインプラットフォームの開拓	大半のローバースカウトがオンライン上でRCJとのつながりを持てるような環境を整備する。 ⇒WebページのWordpress移行は完了し、RCJ運営委員がWebページにコンテンツを投稿できる環境が整った。Facebookでの広報は継続し、LINE@や県代表JOTIといった新たな試みも行った。 <i>→プログラムを知らなくてUP可能</i>	○	○	●
活動環境の改善	青年参画	ローバーがスカウト運動の意思決定の場に参画する機会を拡大する。 ⇒議長が教育推進会議に引き続き出席している。更には、日本連盟コミッショナーとの話し合いが会議とは別で設けられ、ユースの意見を表明する場が増えた。社会連携・広報委員会には担当委員が参席。教育推進会議や日本連盟事業計画の中で、常設委員会にローバー年代が参画する必要性について取り上げられている。また、県・団などでの青年参画を推進するための情報提供ができるようになってきた。	○	○	○
	各種組織との連携	RCJが各種組織と連携をし、ローバー活動の推進をより大きな枠組みで行える環境を整備する。 ⇒来年度から日本連盟コミッショナーがRCJ運営委員会に参席予定。	○	○	○
	RCJの組織構造の安定化	RCJが持続発展可能で、ローバー年代にとって身近な組織となるような環境を整備する。 ⇒県代表から意見を集める機会は設けたが、意見があまり出ないといった課題が見られる。RCJガイドブックと県代表ローバーコミュニティシートを軸にするという方向性は固まってきた。	○	●	
	成人の支援	ローバー活動の発展のために成人が適切な支援・助言ができるよう、環境を整える。 ⇒指導者養成課程・指導者ハンドブック両方が必要である。ローバー年代が指導者にどういった支援を求めらるかを明らかにする必要がある。	○	○	○
	国際チーム	ローバー部門における国際活動のデータベースとなる。 ⇒到達目標に向けた体制は整ったので、実行するのみ。	○	○	●
活動機会の提供	全国事業	過年度の反省を活かし、全国事業の開催を安定化させる。 ⇒RCJ Re:Quest実行委員会の提言を踏まえてRCJ運営委員会で議論でき、認識した課題を次の事業に引き継ぐ体制もできている。構成員からのニーズを吸い上げられていないことが課題。	○	○	○
	ブロックイベント	各ブロックの背景をもとに、自発的な開催を行える環境を整備する。 ⇒今年度は3ブロックで実施予定。ブロックイベント開催における事務手続きのやり方が明らかになった。	○	●	

第4号議案 2019年度事業計画に関する件

4.1 2019年度事業計画全般

目標	月	主な予定
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なRCJ構成員に対して今後のローバースカウト活動における活動機会を提供するために、RCJ フォーラム2019への参加者を200名集める。 ・RCJのネットワーク活用し、様々な問題を抱える構成員に対して情報提供や意見集約を可能にするために、全都道府県連盟からのRCJ県連盟代表者を選出する。 ・選出されたRCJ県連盟代表者がRCJガイドブックにあるような業務を適切に実施し、各々の地域においてローバースカウト活動を行う際に問題となっていることを分析し、課題解決するような施策を企画・実行する。 	4	
	5	RCJ総会（全国大会）
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	RCJフォーラム2019
	11	
	12	
	1	
	2	
	3	

<RCJ フォーラム2019>

名称： RCJ フォーラム2019

テーマ： 未定

大会期間： 2019年10月12日(土)～14日(月) 2泊3日

会場： 大阪府立少年自然の家（〒597-0102 大阪府貝塚市木積秋山長尾3350）

実行委員： 選出中

開催目的： 参加者が話し合いや交流を通して、スカウティングにおける課題解決のための契機となるようにする。

開催目標： 本フォーラムへの参加によって、参加者が以下の事項を達成すること。

- ・スカウティングの本質について理解を深め、仲間が直面している課題の多様性を知る。
- ・テーマへの理解を深めることで、視野を広げ活動を豊かにするプロセスを体験する。
- ・様々な環境で活動しているスカウトと交流をすることで、活動の視野を広げる。
- ・他者との話し合いから、課題を解決するための手立てを得る。
- ・プログラムを通して得たことを自らのフィールドに還元する。

2019（令和元）年5月20日

24WS J派遣 参加スカウト・保護者 各位
 〃 本部員・隊指導者 各位
 参加スカウト所属団の隊指導者 各位
 〃 所属地区コミッショナー 各位
 県連盟役員・関係者 各位

日本ボーイスカウト静岡県連盟
 理事長 村松 武博

第24回世界スカウトジャンボリー日本派遣団 静岡県連盟 壮行会のご案内

三指

日頃はボーイスカウト運動にご支援・ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、今夏にアメリカ合衆国で行われます「第24回世界スカウトジャンボリー（24WS J）」の開催が間近となってまいりました。

静岡県連盟から日本の代表として24WS Jに参加する47名の派遣員（スカウト39名・IST1名・隊指導者5名・本部員2名）を激励するため、「静岡県連盟 壮行会」を下記の通り開催致します。ご多用のこととは存じますが、是非ご参列頂きますようご案内申し上げます。

なお、壮行会の終了後、B分団 第16隊の第2回保護者説明会を行いますので、併せてご案内申し上げます。

弥栄

— 記 —

- ・日 時： 2019年6月23日（日）
 13：00～13：30 「静岡県連盟 壮行会」
 13：30～ 「第16隊 第2回保護者説明会」
- ・会 場： 静岡県青少年会館 2階大会議室
 静岡市葵区田町1-70-1

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

24-WS J静岡実行委員会 松田 茂

携帯電話： 080-1609-0420

メール：tora523futago@vc.tnc.ne.jp

2019年6月8日

会議出席報告

報告者 村松 武博

会議名 社会を明るくする運動 推進委員会
日時 2019年5月8日(水) 10:00~11:25
場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ
出席者 村松 武博

内容

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるための組織
官公庁、自治体、司法、警察、経済界、労働団体、教育、報道、法務省関係
団
体等 109 機関、団体により構成

委員長は県知事

法務省代表として、静岡地方検察庁検事正があいさつ

事業

推進委員会、推進連絡協議会の開催

作文コンテスト

広報活動

県庁正面に立て看板、デパートに懸垂幕、駅、車内にポスター掲示、Jリ
ーグの試合前に動画上映

表彰

地区ごとに街頭広報啓発活動

出席者感想

青少年の健全育成という観点からすれば、ボーイスカウト運動とこの
委員会の理念とは一致するものであると感じた。

2019年6月8日

会議出席報告

報告者 村松 武博

会議名 「小さな親切」運動静岡県本部 理事会・総会
日時 2019年5月13日(月) 理事会 15:30~16:00
総会 16:15~17:15
場所 アゴラ静岡 7階大会議室
出席者 村松 武博

内容

思いやりの心を広める。
できる親切はみんなでしょう。

青少年心の育成事業

あいさつ運動

作文コンクール

環境保全事業、環境美化事業

里山づくり活動

棚田保全活動

クリーン作戦

福祉施設支援事業

支援活動

いのちの電話

心の国際交流事業

ベルマーク

使用済み切手、書き損じはがき

理事会で総会に提案する議題の確認、その後総会で審議、承認

出席者感想

「小さな親切」運動は、フォーラム開催、作文コンクール、あいさつ運動などを実施しているが、「小さな親切」実行章は、ボーイスカウトの活動も範疇に入るもので、昨年度は、静岡第27団が受章している。

2019年6月8日

会議出席報告

報告者 村松 武博

会議名 2019年度 第1回県連盟代表者会議
日時 2019年5月25日(土) 15:30~17:30
場所 鹿児島市・鹿児島産ロイヤルホテル
出席者 村松 武博
瀧島 三郎

内容

奥島理事長あいさつ

2022年までに、加盟員を上昇傾向に持っていく。
原点は、隊・団であり、良き指導者が必要である。

議題

5月7日の理事会で承認済み

- 1 2018年度事業報告・決算について
- 2 2019年度事業計画・予算について
- 3 財政再建及び組織改革に関する基本方針への取り組み状況について
- 4 2019年度維持会費の都道府県連盟への協力依頼について
- 5 100周年記念事業について
- 6 第14回日本アグーナリー開催地の公募について
- 7 今後の全国大会開催地について
- 8 団診断について

2021年の全国大会静岡開催が発表された。

来年、神奈川で開催の全国大会には、静岡大会の予告ブースの設置と、
主要スタッフの運営方法研修参加が必要。

団診断の表による分析と活用が必要と感じる。

静岡県連盟へのお願い事項

緑の募金についてご検討をお願い致します。
 本運動に対し趣旨を理解し少しでもお役に立てるよう浜松地区として努力をしておりますが下記結果の通り目標額には至りませんでした。
 未達分については地区内で対応を検討して参りますが年々負担が増えているのは間違いない事実です。
 登録数を増やして自ら負担額を減らしていく努力は当然実施して参りますが、グリーンバンクへの割当額の減額等も是非ご検討をいただきたいと思います。

2019年6月1日

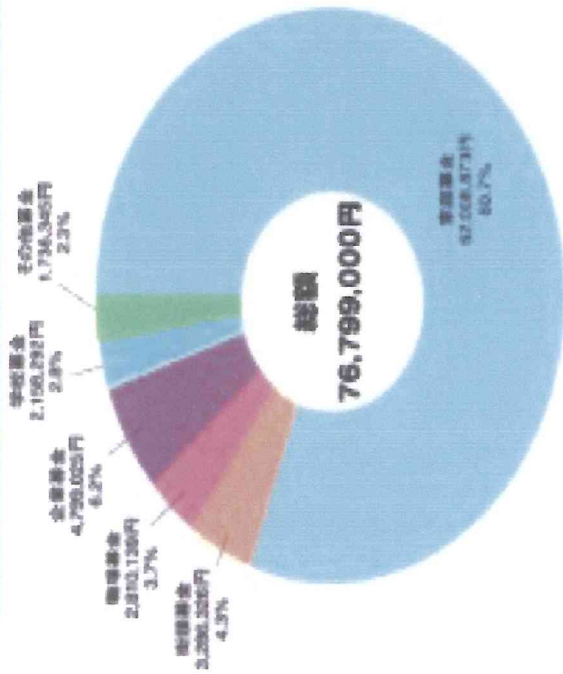
浜松地区 地区委員長 渋谷茂光

実施日	実施時間	実施場所	割当分 (負担金)	募金額	備考
浜松第01団	5月26日 13時～15時	浜松駅前	21,250	24,965	2ヶ所に分かれて行いました、人通りは多く昨年とほぼ同じ募金にご協力を頂きました
浜松第07団	4月14日 13:40～14:40	浜松駅前	38,100	40,072	駅前で人通りは思ったほど多くありませんでしたが、ほぼ目標額(緑の募金の活動のための駐車場代を引いた団負担金)を達成しました。
浜松第12団	4月14日 13:30～16:00	浜名湖ガーデンパーク	105,050	60,486	曇り空で雨予報もあり、ガーデンパークへの来場者も多くは無かったですが、予想以上の募金をいただきました。 春とはいえ寒い中での活動でしたが、スカウト達は大きな声で呼び掛け、長く頑張りました。
浜松第14団	4月21日 2時間	浜松駅前 遠鉄百貨店前 新浜松駅前	15,800	37,730	3か所に分かれて募金活動実施。ソラモでイベントもあり多くの人の流れがあった。(1000円札5枚、500円硬貨19枚)
浜松第19団	4月28日 9:00～11:30	パルパル&動物園	37,000	37,517	CS、BS他約30名にて実施。天気にも恵まれ沢山の観光客が来場されていたが財布の紐は堅い。(1000円札は一枚のみ)
引佐第02団	5月26日 9:30～10:00	フラワーパーク	11,450	10,393	記録的な暑い日だったため、お客様も少なく、熱中症対策のため時間を短縮しました。スカウトからは、もう少し、と言う声もありましたが指導者が判断しました。
浜名第01団	5月11日 2時間	杏林堂舞阪店	21,250	16,660	ほぼ昨年と同額(若干少ない額)、おそらく負担金までは集まっていけないでしょう。 結局差額は、団負担になり持ち出しとなります。
湖西第01団	3月24日 2時間	湖西連峰登山口及び び神事式典会場	7,600	10,424	湖西連峰山開き神事に合わせて実施。JRウオーク等の開催もあり例年の人出。
合計	前年依頼額 242,500円		257,500	238,247	★目標に対する未達金額19,253円は、6/17地区委員会にて対応方法検討。

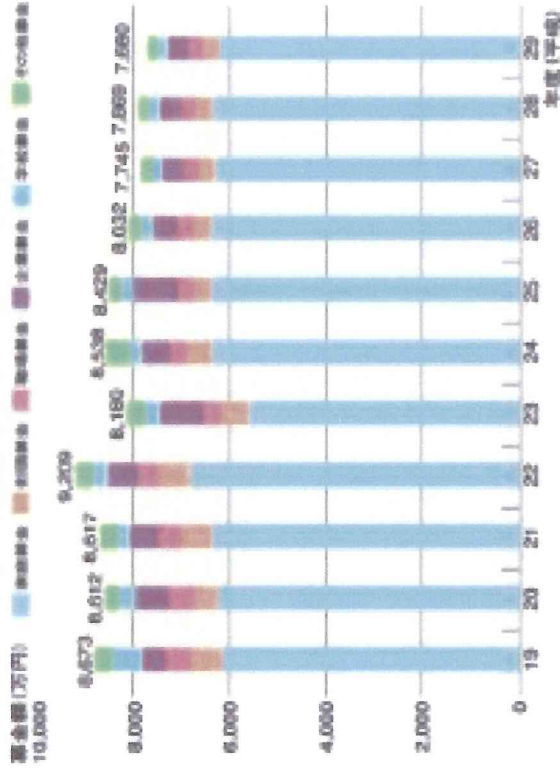
「緑の募金」について

<p>緑の募金による森林整備等の推進に関する法律</p> <p>緑の募金による森林整備等の推進に関する法律(みどりのぼきん)によるしんりんせいびんすのすいしんにかんするほうりつ、平成7年5月8日法律第88号)は、緑の募金を通じて、森林整備等に係る活動の円滑化を図ることを目的とした日本の法律をいう。</p> <p>法令上の目的として、緑の募金の健全な発展を図るために必要な措置を定めること等により、国民、事業者及びこれらの者の組織する民間の団体が行う森林整備等に係る自発的な活動等の円滑化を図り、もって日本における森林の整備及び緑化の推進並びにこれらに係る国際協力の推進に資することが謳われている(第1条)。</p> <p>第十六条 緑の募金は、寄附者の自発的な協力を基礎とするものでなければならぬ。</p>	<p>公益財団法人静岡県グリーンバンク</p> <p>グリーンバンクは、昭和40年代の高度成長期に失われた「緑」を復活させるために「緑の善意銀行」として昭和50年設立され、40年余の歴史を重ねてきました。</p> <p>この間、多くの県民の善意を基に、2,500箇所を超える公共施設の緑化工事や苗木150万本の無償配布を行い、また、花壇や芝生地を維持管理するボランティアの研修に注力してきました。</p> <p>他方、平成29年4月「緑の募金」を取り扱う公益社団法人静岡県緑化推進協会と合併し、「都市緑化」から「森づくり」まで幅広い緑化推進を行う新生グリーンバンクとして再出発しました。</p> <p>【役員】 理事長 副理事長 専務理事 常任理事 理事 監事 評議員：10名 会長：県知事 相談役</p>	<p>BS静岡県連</p> <p>評議員 ⇄ 理事長</p> <p>主要構成団体として募金額割当て220万円</p> <p>県連集約、割当て額納付</p> <p>緑化事業推進事業費として補助金160万円交付(2018年度実績141万円)</p> <p>野営行事委員会が緑化事業推進 ・東中西ブロック別、緑化活動 ・地区、団への補助金給付による緑化活動推進</p>	<p>県内各地区</p> <p>登録数わりで各地区に割当て(浜松地区:257,500円)</p> <p>各地区、割当て額納付</p>	<p>地区内各団</p> <p>登録数わりで各団に割当て</p> <p>各団、募金活動実施、割当て額納付</p>
<p>2018年度結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部三島私立箱根の里(芝生広場の清掃等)90名 ・中部三保海浜公園(松の幼木の補植)89名 ・西部遠州灘海岸(防潮堤植林)40名 ・2地区2事業から申請(浜松15団は単独で補助金をもらい山の整備をしている) <p>★2018年度支出:280,000円</p>		<p>【問題・課題】</p> <p>①県連への募金割当額は変わっていないが、登録数の減少により各地区各団への負担が増えている。 平成25年4,450本、222,500円、607名(367円/一人当たり募金割当額)。 平成31年5,150本、257,500円、475名(542円/一人当たり募金割当額)。 ②補助金を141万円いただいているが緑化事業に使われているのは28万円で113万円は、緑化事業以外に使われている。</p> <p>★県連は毎年、特別予算から「スカウト活動支援準備金」として400万繰り入れて(食いつぶして)県連予算を作って居ます。(このままだと、あと7年経つと0になります。⇒県連会費等、値上げ?)</p> <p>↓</p> <p>緑化事業推進事業補助金も日連の維持会費と同様、目標額を超えると増えるため貴重な財源。</p>		

H29年度「緑の募金」の実績

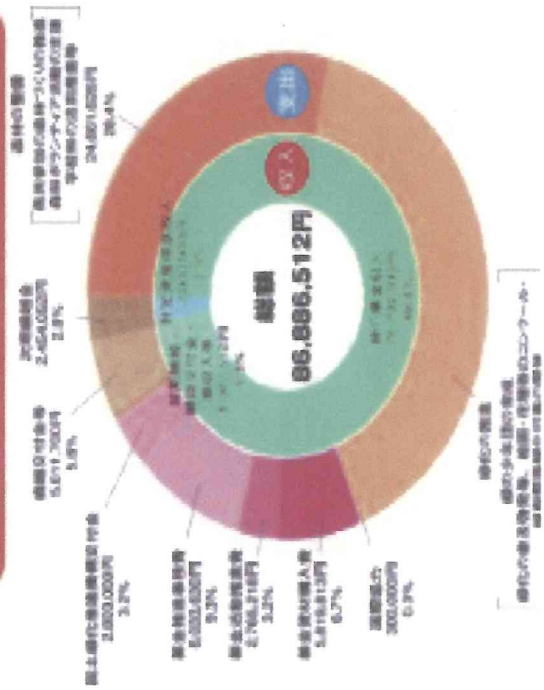


「緑の募金」の募金種別推移



平成29年度も様々な活動に「緑の募金」が活用されました。

H29年度「緑の募金」の使途



浜松東地区活動

●他企業コラボ企画の防災キャラバン 2019 開催予定

会場：浜松イオンモール志都呂、

日程：7月21日(日)イオン側了承済み

開催はボーイスカウト浜松連合協議会とし、浜松地区、浜松東地区が協力して運営する。

詳細は準備中

●浜松地域の野営場“太田山野営場”は組織的にボーイスカウト連合協議会の下部団体として今期から運営する。

- ・利用申し込み方法はメール、FAXを使用
- ・鍵は各団責任管理